

2 . 県行政の各分野の取組についての重要意識・満足意識・認知意識

問2 以下に掲げたそれぞれの項目は、三重県が目指すべき社会の状態を表しています。
あなたは、これらのことをどのくらい重要と感じますか。
また、こうした社会を目指すにあたっての現在の行政の取組に対してどのくらい満足されていますか。
さらに、そうした行政の具体的な取組をどの程度ご存知ですか。

県行政の44項目の取組について、重要意識と満足意識、認知意識を調査した。また、前回調査(平成17年度)、前々回調査(平成16年度)との比較を行った。

重要意識の選択肢

重要 どちらかといえば重要でない	どちらかといえば重要 重要でない	どちらともいえない わからない
---------------------	---------------------	--------------------

満足意識の選択肢

満足 どちらかといえば不満	どちらかといえば満足 不満	どちらともいえない わからない
------------------	------------------	--------------------

認知意識の選択肢

取組の内容を知っている あまり知らない	取り組んでいることは知っている 知らない
------------------------	-------------------------

各項目について県民の意識を測定するため、重要意識、満足意識と不満足意識、認知意識を用いる。

「重要意識」 = 「重要」と「どちらかといえば重要」と答えた人の率の計
「満足意識」 = 「満足」と「どちらかといえば満足」と答えた人の率の計
「不満足意識」 = 「不満」と「どちらかといえば不満」と答えた人の率の計
「認知意識」 = 「取組の内容を知っている」と「取り組んでいることは知っている」と答えた人の率の計

<各項目と「県民しあわせプラン」のめざすべき社会像〔元気・くらしの安全安心・絆の3つの社会像〕との分類について>

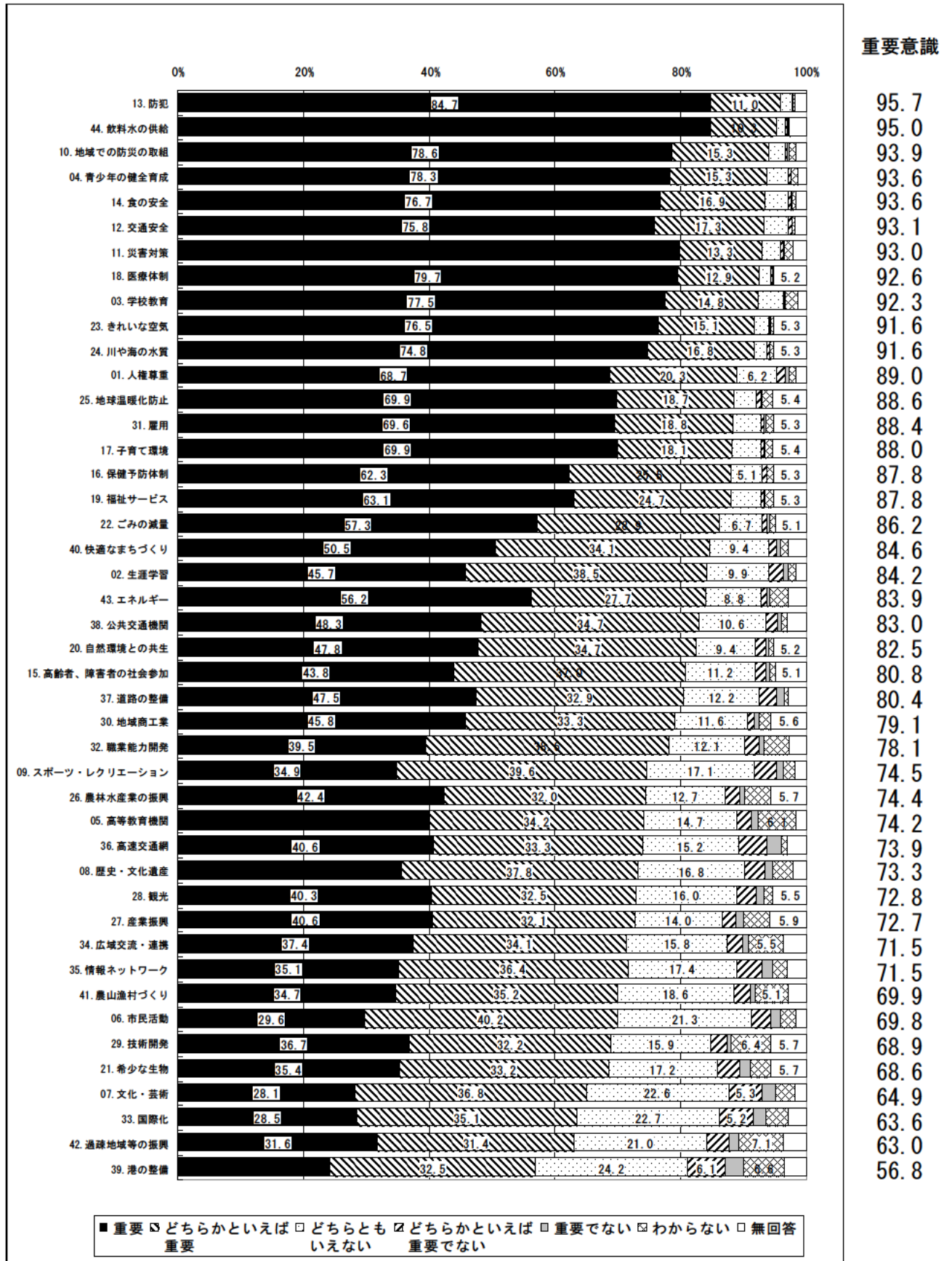
一万人アンケートでは、県行政の各分野における44項目の取組について、各項目を「県民しあわせプラン」のめざすべき社会像〔元気・くらしの安全安心・絆の3つの社会像〕に分類して表示している。

「しあわせプラン」の基本体系	項目番号	項目
元気 【一人ひとりが力を発揮し、経済や産業が元気な社会へ】	1	人権尊重
	2	生涯学習
	3	学校教育
	4	青少年の健全育成
	5	高等教育機関
	7	文化・芸術
	8	歴史・文化遺産
	9	スポーツ・レクリエーション
	26	農林水産業の振興
	27	産業振興
	28	観光
	29	技術開発
	30	地域商工業
	31	雇用
くらしの安全安心 【くらしの安全・安心が確立された社会へ】	32	職業能力開発
	10	地域での防災の取組
	11	災害対策
	12	交通安全
	13	防犯
	14	食の安全
	15	高齢者、障害者の社会参加
	16	保健予防体制
	17	子育て環境
	18	医療体制
	19	福祉サービス
	20	自然環境との共生
	21	希少な生物
	22	ごみの減量
	23	きれいな空気
	24	川や海の水質
	25	地球温暖化防止
絆 【助け合い、ささえあいによる絆社会へ】	43	エネルギー
	44	飲料水の供給
	6	市民活動
	33	国際化
	34	広域交流・連携
	35	情報ネットワーク
	36	高速交通網
	37	道路の整備
	38	公共交通機関
	39	港の整備
40	快適なまちづくり	
41	農山漁村づくり	
42	過疎地域等の振興	

(1) 重要意識に関する結果の概要

(重要意識は「重要」「どちらかといえば重要」と答えた人の率の計)

(集計資料 p.4)



<平成 18 年度>

- ・44 項目全ての項目で重要意識が 50%以上で、そのうち 11 項目が 90%を、25 項目が 80%を上回っており、各項目についての重要意識は高い。
- ・44 項目の中で重要意識が最も高いのは、「防犯」(95.7%)で、以下「飲料水の供給」(95.0%)「地域での防災の取組」(93.9%)「青少年の健全育成」(93.6%)「食の安全」(93.6%)などの項目が上位にあげられている。
- ・重要意識が最も低いのは、「港の整備」(56.8%)で、次いで「過疎地域等の振興」(63.0%)「国際化」(63.6%)「文化・芸術」(64.9%)「希少な生物」(68.6%)の順となっている。
- ・しあわせプランの3つの社会像別にみると、「くらしの安全安心」に関する項目が上位を占め、「絆」に関する項目の重要意識が低くなっている。

<平成 16 年度、平成 17 年度との比較>

- ・上位 10 項目を比較してみると、18 年度は全体的に重要意識が上がっている。9 位に「学校教育」があがっている他は項目自体に変化はない。また、「医療体制」「きれいな空気」「川や海の水質」の順位は 16 年度、17 年度と比べ落ちているのに対し、「地域での防災の取組」「青少年の健全育成」「食の安全」は上がっている。
- ・下位 10 項目を比較してみると、「港の整備」「過疎地域等の振興」は 3 年間変わらず 1 位、2 位となっている。また、「希少な生物」「技術開発」の順位は 16 年度、17 年度と比べ上がっている。

重要意識上位 10 項目

順位	平成 18 年度		平成 17 年度	
	項目	重要意識	項目	重要意識
第 1 位	防犯【くらし】	95.7%	防犯【くらし】	93.7%
第 2 位	飲料水の供給【くらし】	95.0%	医療体制【くらし】	93.6%
第 3 位	地域での防災の取組【くらし】	93.9%	飲料水の供給【くらし】	93.4%
第 4 位	青少年の健全育成【元気】	93.6%	きれいな空気【くらし】	92.6%
第 5 位	食の安全【くらし】	93.6%	交通安全【くらし】	92.5%
第 6 位	交通安全【くらし】	93.1%	川や海の水質【くらし】	92.4%
第 7 位	災害対策【くらし】	93.0%	災害対策【くらし】	91.9%
第 8 位	医療体制【くらし】	92.6%	地域での防災の取組【くらし】	91.4%
第 9 位	学校教育【元気】	92.3%	青少年の健全育成【元気】	91.3%
第 10 位	きれいな空気【くらし】	91.6%	食の安全【くらし】	91.0%
第 10 位	川や海の水質【くらし】	91.6%		

順位	平成 16 年度	
	項目	重要意識
第 1 位	防犯【くらし】	93.8%
第 2 位	医療体制【くらし】	92.6%
第 3 位	飲料水の供給【くらし】	92.1%
第 4 位	川や海の水質【くらし】	91.8%
第 5 位	交通安全【くらし】	91.7%
第 6 位	きれいな空気【くらし】	91.2%
第 7 位	地域での防災の取組【くらし】	91.0%
第 8 位	食の安全【くらし】	90.9%
第 9 位	災害対策【くらし】	90.5%
第 10 位	青少年の健全育成【元気】	90.3%

重要意識下位 10 項目

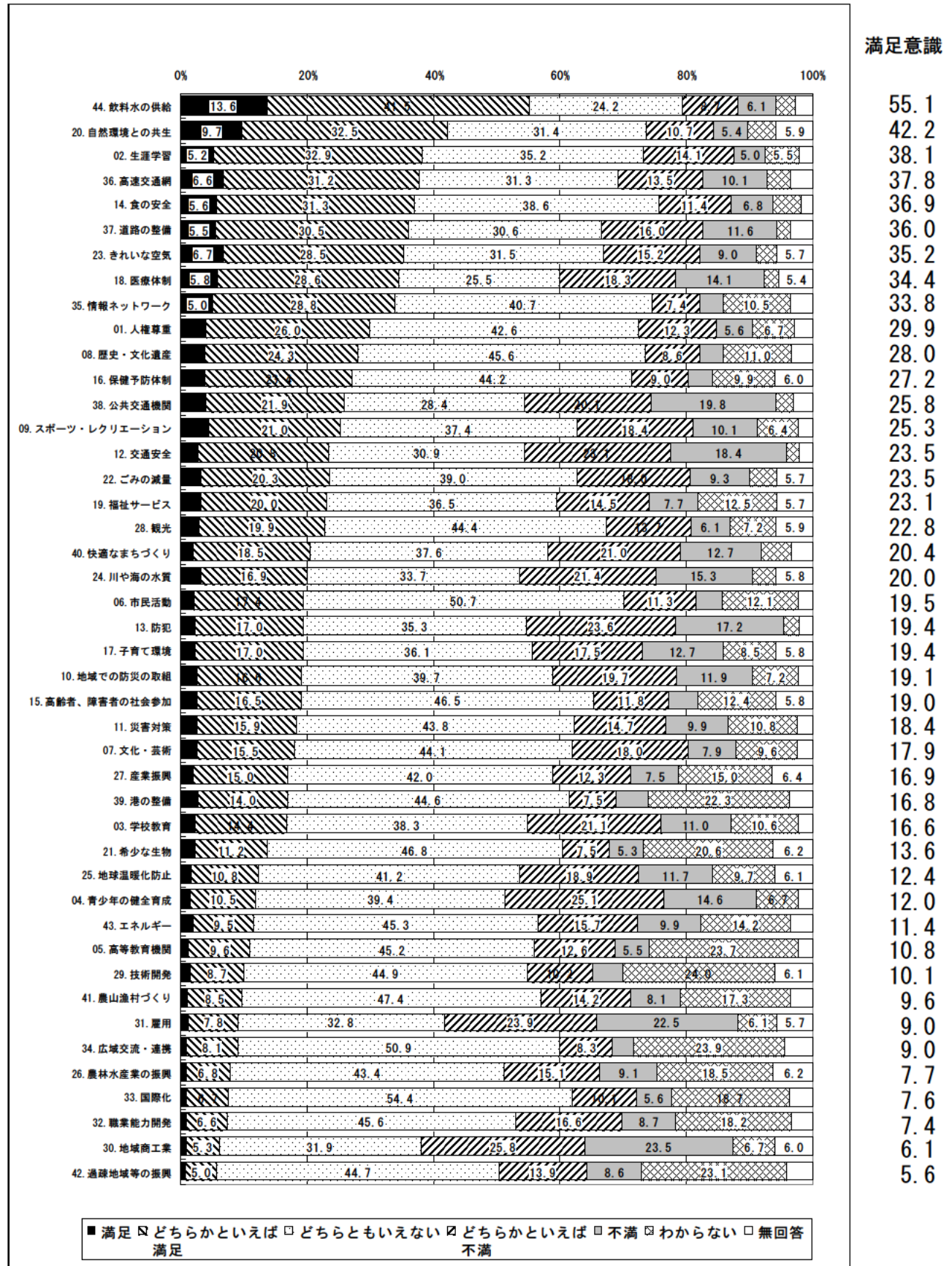
順位	平成 18 年度		平成 17 年度	
	項目	重要意識	項目	重要意識
第 1 位	港の整備【絆】	56.8%	港の整備【絆】	54.6%
第 2 位	過疎地域等の振興【絆】	63.0%	過疎地域等の振興【絆】	61.2%
第 3 位	国際化【絆】	63.6%	文化・芸術【元気】	65.2%
第 4 位	文化・芸術【元気】	64.9%	国際化【絆】	65.4%
第 5 位	希少な生物【暮らし】	68.6%	市民活動【絆】	67.6%
第 6 位	技術開発【元気】	68.9%	農山漁村づくり【絆】	67.7%
第 7 位	市民活動【絆】	69.8%	情報ネットワーク【絆】	68.5%
第 8 位	農山漁村づくり【絆】	69.9%	希少な生物【暮らし】	68.5%
第 9 位	情報ネットワーク【絆】	71.5%	技術開発【元気】	69.2%
第 10 位	広域交流・連携【絆】	71.5%	広域交流・連携【絆】	71.2%

順位	平成 16 年度	
	項目	重要意識
第 1 位	港の整備【絆】	52.3%
第 2 位	過疎地域等の振興【絆】	59.4%
第 3 位	文化・芸術【元気】	62.7%
第 4 位	国際化【絆】	63.0%
第 5 位	市民活動【絆】	65.6%
第 6 位	農山漁村づくり【絆】	66.1%
第 7 位	希少な生物【暮らし】	67.9%
第 8 位	広域交流・連携【絆】	68.3%
第 9 位	情報ネットワーク【絆】	68.4%
第 10 位	技術開発【元気】	69.5%

(2) 満足意識・不満足意識に関する結果の概要

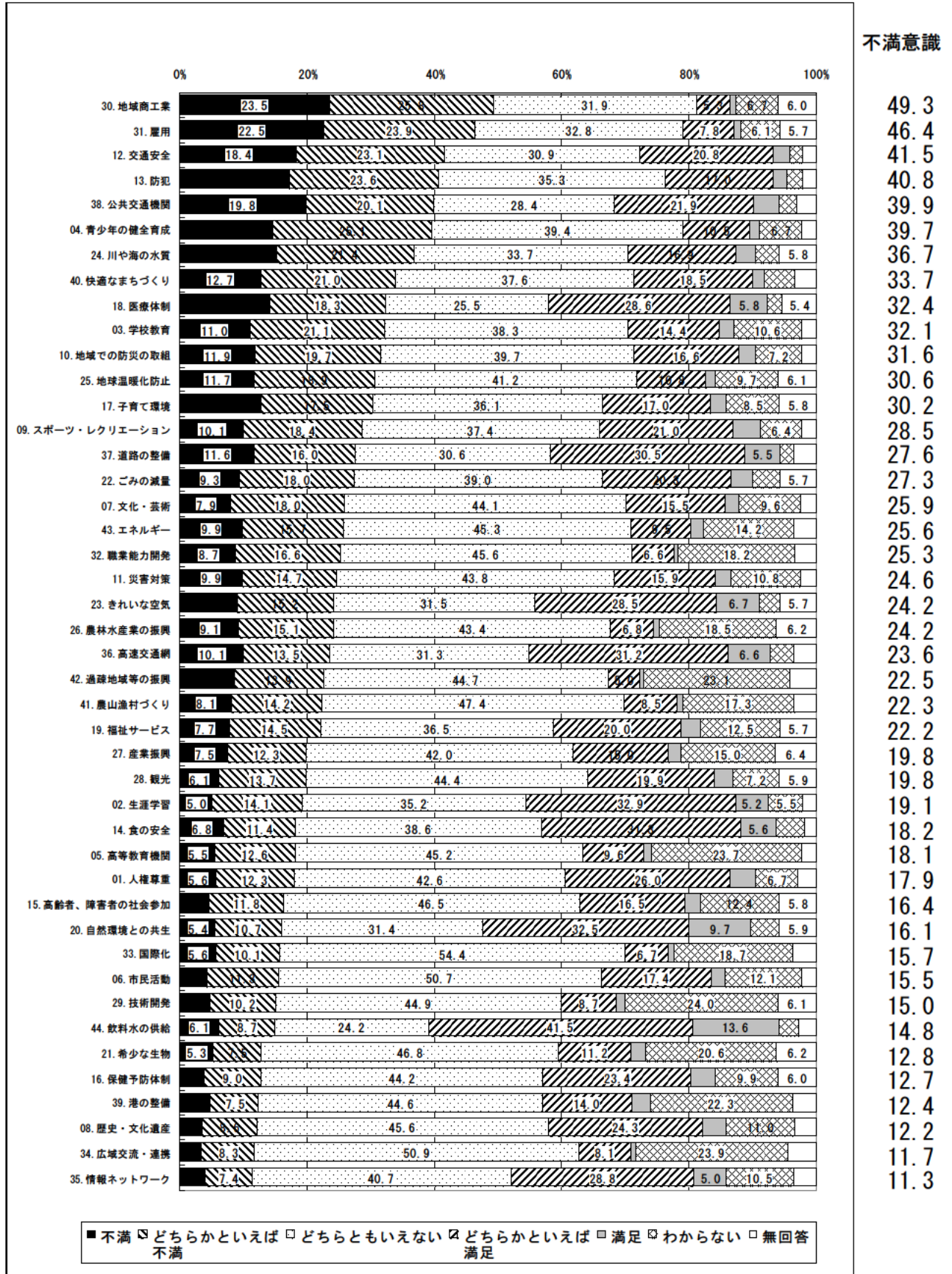
(満足意識は「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の率の計)

(集計資料 p.5)



(不満足は「不満」「どちらかといえば不満」と答えた人の率の計)

(集計資料 p.5)



<平成 18 年度>

- ・満足意識については、「飲料水の供給」が 55.1%で最も高く、44 項目の中で唯一 50%を上回っている。以下、「自然環境との共生」(42.2%)、「生涯学習」(38.1%)、「高速交通網」(37.8%)、「食の安全」(36.9%)の順となっており、満足意識が 30%以上の項目は 9 項目となっている。
- ・しあわせプランの 3 つの社会像別にみると、「くらしの安全安心」に関する項目が上位に 5 項目入っているのに対し、「元気」「絆」に関する項目は満足意識が低くなっている。
- ・不満意識については、「地域商工業」が 49.3%で最も高く、次いで「雇用」(46.4%)、「交通安全」(41.5%)、「防犯」(40.8%)、「公共交通機関」(39.9%)の順となっており、不満意識が 30%以上の項目は 13 項目となっている。
- ・不満意識の高い項目について、しあわせプランの 3 つの社会像別にみると「元気」「くらしの安全安心」に関する項目が多い。

<平成 16 年度、平成 17 年度との比較>

- ・満足意識について、上位 10 項目を比較してみると、17 年度と項目自体に変化はない。16 年度から比較すると、「高速交通網」が圏外から 17 年度には 7 位、18 年度には 4 位と順位が上がっているのに対し、「医療体制」は 16 年度では 3 位、17 年度では 6 位、18 年度では 8 位にまで落ちている。下位 10 項目を比較してみると、9 位以内のものについては順位に変動はあるものの、項目自体に変化はみられない。また、「広域交流・連携」は 16 年度では 9 位だったが、17 年度、18 年度では 6 位に入っている。一方、「雇用」は 16 年度では 3 位だったが、17 年度、18 年度では 7 位となっている。
- ・不満意識について、上位 10 項目を比較してみると、18 年度で初めて「医療体制」があがっている。また、「地域での防災の取組」は 16 年度では 9 位、17 年度では 7 位にあがったものの、18 年度では圏外となっており、不満意識は低下している。下位 10 項目を比較してみると、17 年度から「広域交流・連携」の順位が上がっているのに対し、「希少な生物」は下がっている。また、「飲料水の供給」の順位は 16 年度から上がり続けているのに対し、「自然環境との共生」は下がり、18 年度には圏外になっている。

満足意識上位 10 項目

順位	平成 18 年度		平成 17 年度	
	項目	満足意識	項目	満足意識
第 1 位	飲料水の供給【くらし】	55.1%	飲料水の供給【くらし】	55.0%
第 2 位	自然環境との共生【くらし】	42.2%	自然環境との共生【くらし】	44.8%
第 3 位	生涯学習【元気】	38.1%	食の安全【くらし】	38.9%
第 4 位	高速交通網【絆】	37.8%	きれいな空気【くらし】	37.3%
第 5 位	食の安全【くらし】	36.9%	生涯学習【元気】	36.9%
第 6 位	道路の整備【絆】	36.0%	医療体制【くらし】	36.0%
第 7 位	きれいな空気【くらし】	35.2%	高速交通網【絆】	35.9%
第 8 位	医療体制【くらし】	34.4%	道路の整備【絆】	34.2%
第 9 位	情報ネットワーク【絆】	33.8%	情報ネットワーク【絆】	31.2%
第 10 位	人権尊重【元気】	29.9%	人権尊重【元気】	30.9%

順位	平成 16 年度	
	項目	満足意識
第 1 位	飲料水の供給【くらし】	51.1%
第 2 位	自然環境との共生【くらし】	40.5%
第 3 位	医療体制【くらし】	35.1%
第 4 位	生涯学習【元気】	34.7%
第 5 位	きれいな空気【くらし】	34.5%
第 6 位	食の安全【くらし】	34.1%
第 7 位	人権尊重【元気】	31.4%
第 8 位	道路の整備【絆】	29.2%
第 9 位	歴史・文化遺産【元気】	29.1%
第 10 位	情報ネットワーク【絆】	28.2%

満足意識下位 10 項目

順位	平成 18 年度		平成 17 年度	
	項目	満足意識	項目	満足意識
第 1 位	過疎地域等の振興【絆】	5.6%	地域商工業【元気】	5.2%
第 2 位	地域商工業【元気】	6.1%	過疎地域等の振興【絆】	5.7%
第 3 位	職業能力開発【元気】	7.4%	職業能力開発【元気】	7.1%
第 4 位	国際化【絆】	7.6%	国際化【絆】	7.4%
第 5 位	農林水産業の振興【元気】	7.7%	農林水産業の振興【元気】	7.5%
第 6 位	広域交流・連携【絆】	9.0%	広域交流・連携【絆】	7.7%
第 7 位	雇用【元気】	9.0%	雇用【元気】	8.1%
第 8 位	農山漁村づくり【絆】	9.6%	技術開発【元気】	9.1%
第 9 位	技術開発【元気】	10.1%	農山漁村づくり【絆】	9.9%
第 10 位	高等教育機関【元気】	10.8%	エネルギー【くらし】	10.7%

順位	平成 16 年度	
	項目	満足意識
第 1 位	過疎地域等の振興【絆】	5.4%
第 2 位	地域商工業【元気】	6.2%
第 3 位	雇用【元気】	7.5%
第 4 位	農林水産業の振興【元気】	7.5%
第 5 位	職業能力開発【元気】	7.8%
第 6 位	国際化【絆】	7.9%
第 7 位	技術開発【元気】	8.2%
第 8 位	農山漁村づくり【絆】	8.4%
第 9 位	広域交流・連携【絆】	8.6%
第 10 位	港の整備【絆】	10.0%

不満足意識上位 10 項目

順位	平成 18 年度		平成 17 年度	
	項目	不満足意識	項目	不満足意識
第 1 位	地域商工業【元気】	49.3%	地域商工業【元気】	51.0%
第 2 位	雇用【元気】	46.4%	雇用【元気】	51.0%
第 3 位	交通安全【くらし】	41.5%	防犯【くらし】	41.7%
第 4 位	防犯【くらし】	40.8%	交通安全【くらし】	41.3%
第 5 位	公共交通機関【絆】	39.9%	青少年の健全育成【元気】	41.2%
第 6 位	青少年の健全育成【元気】	39.7%	公共交通機関【絆】	39.0%
第 7 位	川や海の水質【くらし】	36.7%	地域での防災の取組【くらし】	38.1%
第 8 位	快適なまちづくり【絆】	33.7%	川や海の水質【くらし】	36.4%
第 9 位	医療体制【くらし】	32.4%	学校教育【元気】	34.5%
第 10 位	学校教育【元気】	32.1%	快適なまちづくり【絆】	33.9%

順位	平成 16 年度	
	項目	不満足意識
第 1 位	雇用【元気】	53.6%
第 2 位	地域商工業【元気】	49.1%
第 3 位	防犯【くらし】	42.8%
第 4 位	交通安全【くらし】	42.4%
第 5 位	公共交通機関【絆】	41.4%
第 6 位	青少年の健全育成【元気】	39.3%
第 7 位	川や海の水質【くらし】	38.0%
第 8 位	快適なまちづくり【絆】	34.1%
第 9 位	地域での防災の取組【くらし】	32.0%
第 10 位	道路の整備【絆】	31.3%

不満足意識下位 10 項目

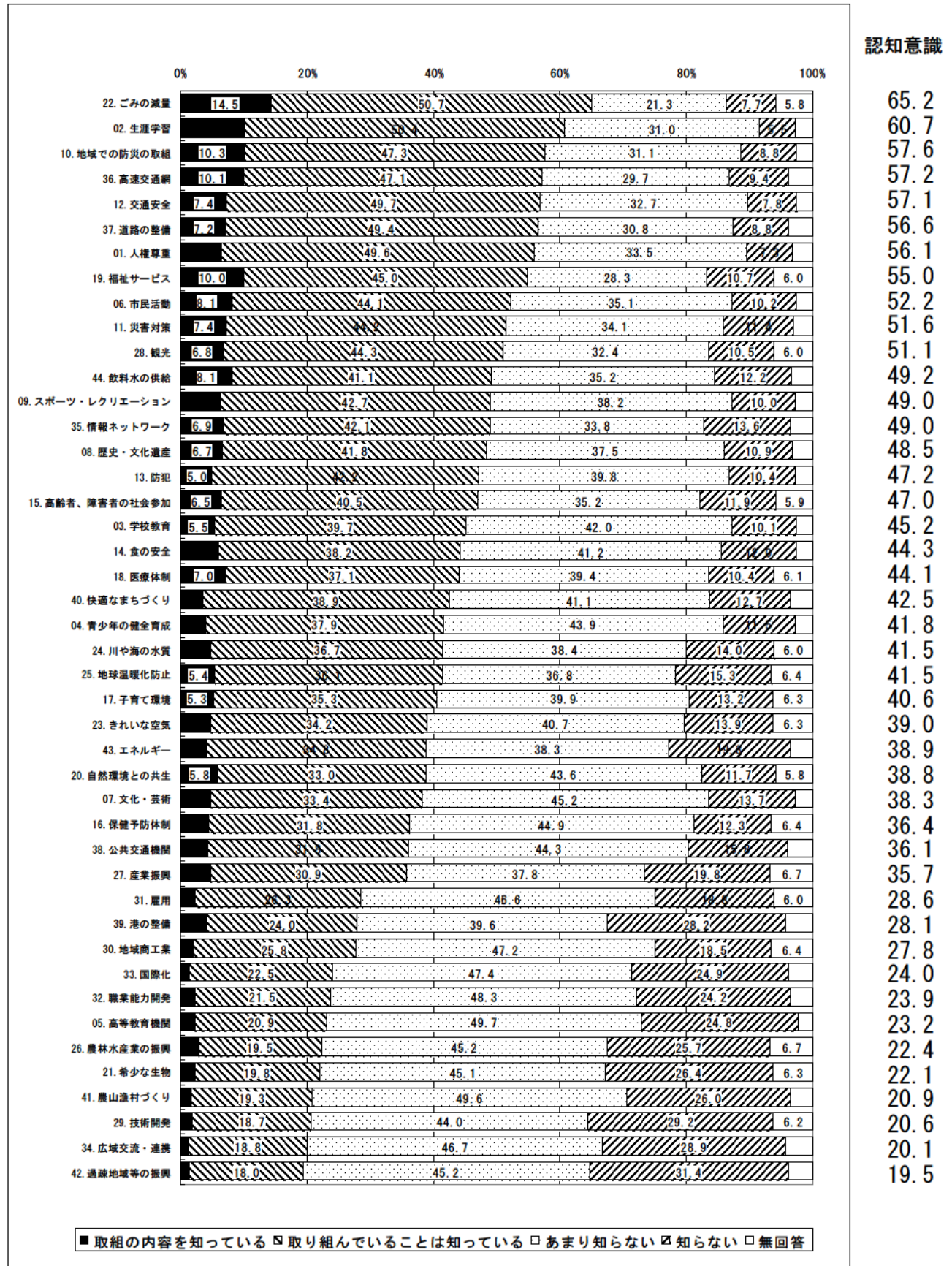
順位	平成 18 年度		平成 17 年度	
	項目	不満足意識	項目	不満足意識
第 1 位	情報ネットワーク【絆】	11.3%	情報ネットワーク【絆】	10.8%
第 2 位	広域交流・連携【絆】	11.7%	歴史・文化遺産【元気】	12.0%
第 3 位	歴史・文化遺産【元気】	12.2%	希少な生物【くらし】	12.2%
第 4 位	港の整備【絆】	12.4%	保健予防体制【くらし】	12.4%
第 5 位	保健予防体制【くらし】	12.7%	広域交流・連携【絆】	13.2%
第 6 位	希少な生物【くらし】	12.8%	港の整備【絆】	13.3%
第 7 位	飲料水の供給【くらし】	14.8%	市民活動【絆】	14.6%
第 8 位	技術開発【元気】	15.0%	自然環境との共生【くらし】	14.7%
第 9 位	市民活動【絆】	15.5%	飲料水の供給【くらし】	14.8%
第 10 位	国際化【絆】	15.7%	技術開発【元気】	14.9%

順位	平成 16 年度	
	項目	不満足意識
第 1 位	情報ネットワーク【絆】	11.0%
第 2 位	港の整備【絆】	11.4%
第 3 位	歴史・文化遺産【元気】	12.3%
第 4 位	広域交流・連携【絆】	12.4%
第 5 位	希少な生物【くらし】	12.5%
第 6 位	保健予防体制【くらし】	13.2%
第 7 位	自然環境との共生【くらし】	15.1%
第 8 位	国際化【絆】	15.7%
第 9 位	市民活動【絆】	15.7%
第 10 位	技術開発【元気】	15.8%

(3) 認知意識に関する結果の概要

(認知意識は「取組の内容を知っている」「取り組んでいることは知っている」と答えた人の率の計)

(集計資料 p.6)



<平成 18 年度>

- ・認知意識が 50%を上回った項目数は 11 項目となっており、認知意識が 30%を下回った項目数は 12 項目となっている。
- ・認知意識については、「ごみの減量」が 65.2%で最も高く、次いで「生涯学習」(60.7%)、「地域での防災の取組」(57.6%)、「高速交通網」(57.2%)、「交通安全」(57.1%)の順となっている。
- ・認知意識が最も低いのは、「過疎地域等の振興」(19.5%)で、次いで「広域交流・連携」(20.1%)、「技術開発」(20.6%)、「農山漁村づくり」(20.9%)、「希少な生物」(22.1%)の順となっている。

<平成 16 年度、平成 17 年度との比較>

- ・上位 10 項目を比較してみると、「観光」が消え、新たに 9 位に「市民活動」があがっている他は、順位に変動はあるものの、項目自体に変化はみられない。「ごみの減量」は 3 年連続 1 位で、2 位との差が大きい。また、「人権尊重」「福祉サービス」は 16 年度、17 年度に比べ順位が落ちているのに対し、「高速交通網」の順位は上がっている。
- ・下位 10 項目を比較してみると、新たに「地域商工業」があがっているのに対し、「港の整備」は 16 年度では 1 位だったが、17 年度には 10 位、18 年度では圏外になっている。また、「希少な生物」「高等教育機関」は 16 年度に比べ順位が上がっている。

認知意識上位 10 項目

順位	平成 18 年度		平成 17 年度	
	項目	認知意識	項目	認知意識
第 1 位	ごみの減量【くらし】	65.2%	ごみの減量【くらし】	68.2%
第 2 位	生涯学習【元気】	60.7%	人権尊重【元気】	60.2%
第 3 位	地域での防災の取組【くらし】	57.6%	生涯学習【元気】	59.8%
第 4 位	高速交通網【絆】	57.2%	地域での防災の取組【くらし】	55.9%
第 5 位	交通安全【くらし】	57.1%	福祉サービス【くらし】	55.7%
第 6 位	道路の整備【絆】	56.6%	道路の整備【絆】	54.2%
第 7 位	人権尊重【元気】	56.1%	高速交通網【絆】	53.5%
第 8 位	福祉サービス【くらし】	55.0%	交通安全【くらし】	53.2%
第 9 位	市民活動【絆】	52.2%	災害対策【くらし】	50.4%
第 10 位	災害対策【くらし】	51.6%	観光【元気】	49.8%

順位	平成 16 年度	
	項目	認知意識
第 1 位	ごみの減量【くらし】	68.2%
第 2 位	生涯学習【元気】	58.0%
第 3 位	人権尊重【元気】	57.5%
第 4 位	福祉サービス【くらし】	56.3%
第 5 位	地域での防災の取組【くらし】	55.0%
第 6 位	交通安全【くらし】	53.8%
第 7 位	道路の整備【絆】	53.5%
第 8 位	災害対策【くらし】	51.7%
第 9 位	高速交通網【絆】	50.7%
第 10 位	観光【元気】	50.4%

認知意識下位 10 項目

順位	平成 18 年度		平成 17 年度	
	項目	認知意識	項目	認知意識
第 1 位	過疎地域等の振興【絆】	19.5%	過疎地域等の振興【絆】	19.1%
第 2 位	広域交流・連携【絆】	20.1%	技術開発【元気】	20.5%
第 3 位	技術開発【元気】	20.6%	広域交流・連携【絆】	20.8%
第 4 位	農山漁村づくり【絆】	20.9%	農山漁村づくり【絆】	21.3%
第 5 位	希少な生物【暮らし】	22.1%	職業能力開発【元気】	23.2%
第 6 位	農林水産業の振興【元気】	22.4%	農林水産業の振興【元気】	23.5%
第 7 位	高等教育機関【元気】	23.2%	高等教育機関【元気】	23.6%
第 8 位	職業能力開発【元気】	23.9%	国際化【絆】	24.0%
第 9 位	国際化【絆】	24.0%	希少な生物【暮らし】	25.1%
第 10 位	地域商工業【元気】	27.8%	港の整備【絆】	25.4%

順位	平成 16 年度	
	項目	認知意識
第 1 位	港の整備【絆】	19.3%
第 2 位	過疎地域等の振興【絆】	20.3%
第 3 位	技術開発【元気】	20.9%
第 4 位	広域交流・連携【絆】	21.2%
第 5 位	農山漁村づくり【絆】	21.9%
第 6 位	農林水産業の振興【元気】	22.4%
第 7 位	職業能力開発【元気】	22.6%
第 8 位	国際化【絆】	22.7%
第 9 位	希少な生物【暮らし】	23.5%
第 10 位	高等教育機関【元気】	25.1%